

参加
無料

(事前申込制)

第132回中国理解講座

中国語教授法と 勉強法

10:00~11:30

立命館孔子学院講義室 (国際平和ミュージアム2階)

3/17
(土)

講師：白家瑶氏 (立命館孔子学院副学院長・中方院長)

講演概要：

語学の講義というものを一言で言えば、講義中の「雰囲気作り」、である。教員も受講者も「興奮状態」で講義を楽しく終えるだけでなく、期待していた以上の「おまけ」もある、という楽しみがある1コマにより、双方が共に満足する「共同経営体」である。わたしは、40年間、絶えずそのように考えてきた。

師範系の語学学校を出て一教員として、日本語教育担当を経験し、日本語をはじめ、法律、中国語など人文学部を転々と異動した後、立命館孔子学院において4年間の中国語担当を経た現在、教室で誰でも「呼吸」できる構造を作ることが、教える上で最も重要な点だと感じている。講義の進行に伴い、受講者の理解も様々で、様々な反応に対応することも必要である。

『論語』には、「学而不厌，诲人不倦」（学んで厭わず、人を誨えて倦まず。）との名言があるが、実際には、教える方も習う方も、嫌になるときもあれば、飽きることもある。諦める、という「宿命」は語学学習の「大敵」だけでなく、「慢性症候群」ともなる恐れがある。これを防ぎ、講義の進行をいかに多彩かつ有効に行うか、ということが課題となるだろう。

お申込み・お問合せ先：立命館孔子学院 (立命館大学 国際平和ミュージアム2階)

〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1 立命館大学 アカデミア立命21内

TEL : 075-465-8426 FAX : 075-465-8429 Mail : koza@st.ritsume.ac.jp http://www.ritsume.ac.jp/confucius/

